

コンサート・イベント科

外国語 1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	江原直子			実務経験	有	職種	英語、英会話教師				

授業概要

ネットなどを通じて音楽が世界に広がっている現在、音楽で必要な外国語を学ぶ。

到達目標

・英語の基礎構造を理解し今までに培った文法力、語彙力を基に、実際に日常の中で使える。・日常生活での出来事を伝える、まとめて文章にできる。・コンサートやイベントで実際に使う英会話を練習し、現場にて英語で対応することが出来る。・英語に対しての興味関心が高まる。

授業方法

英語の構造や文法の全体像を理解し、実際に日ごろ目にする写真や絵を用いて英語をアウトプットする練習を多く行い、英文法の定着を促します。パートナー練習、グループ練習も含めながら英語での会話を練習し、様々な場面で話せる力が育まれるように実践練習を重ねる。前期のまとめには、プレゼンテーションを各自行い、自分のことや身の回りの事柄に関して簡単に話せる力をつける。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。授業内容の理解度を確認するために実施する。授業時間内に行われる発表、内容について評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーに気を付けること。

教科書教材

毎回、資料を配布する。

回数	授業計画
第1回	be動詞、名詞、冠詞：be動詞への理解を深め、名詞の種類とそれぞれの冠詞のつけ方を理解した上で使いこなせる。
第2回	人称代名詞、場所を表す前置詞：人称代名詞の主格と所有格の用法を定着させ、人や場所に関する受け答えを行える。
第3回	数の表し方、時間の前置詞：買い物の場面で使える英語や大きな数の表し方を習得する。時間に関する受け答えを習得する。

第4回	形容詞：もの、人や食べ物などの状況についての質問と答えを話せる。
第5回	Yes・No疑問文/所有代名詞：第1回から第4回までの授業で学習した内容をYes・No疑問文の形で練習し、習得する。
第6回	比較級：比較級を用いた受け答えを習得する。
第7回	数量を表す副詞：可算名詞と不可算名詞の用法の違いに注意しながら数量を尋ねる受け答えを習得する。
第8回	プレゼンテーション：第1回から第7回までに習得した内容を用いて、簡単なプレゼンテーションを行える。
第9回	方向を表す前置詞、現在進行形：動詞の活用の重要性と日本語との違いを理解し動詞の現在進行形を使った受け答えを習得する。
第10回	過去形：動詞の過去形を使った受け答えを習得する。
第11回	未来形、助動詞未来形、助動詞：助動詞"will", "can", "should"を使った受け答えを習得する。
第12回	現在形：動詞の現在形の用法と日本語との違いを理解し、それを使った受け答えを習得する。
第13回	不定詞/動詞活用テスト：不定詞を使った表現を習得する。第9回から第12回までに習得した動詞の活用をスムーズに行える。
第14回	前期のまとめプレゼンテーション：前期に習得した内容を使ってプレゼンテーションを行える
第15回	前期のまとめプレゼンテーション：前期に習得した内容を使ってプレゼンテーションを行える。